

チェルノブイリ通信

2011年9月20日

No.85

- 発行 NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク
〒811-3102 福岡県古賀市駅東2-6-26/パステル館203号
TEL/FAX 092-944-3841 Email jim@cher9.to
ホームページ <http://www.cher9.to/>
- 募金口座 郵便振替口座 01770-1-65328
楽天銀行 ジャズ支店(支店番号201)(普)7017104



チェルノブイリ医療支援ネットワークは、チェルノブイリ原発事故で被災した人々のために、
現地から求められる医療支援を行います。
この活動を通して、日本とベラルーシの人々の心と心のつながりを深めます。



チェルノブイリから25年、被災地ベラルーシの首都ミンスクにて
子どもたちの笑顔未来につなげたい

特集:25年目のチェルノブイリ

汚染された大地での暮らし、負の遺産…
私たちはチェルノブイリから何を学んだか

今こそ知りたい!日本の原発Q&A

「ママは原発いりません」福岡・特別寄稿

事務局日誌より主な活動報告

会員さん紹介コーナー

募金者のお名前とメッセージ

汚染された大地での暮らし、負の遺産： 私たちはチェルノブイリから何を学んだか

今年3月に発生した大震災、福島での原発事故を機に、原発や放射能の問題に大きな関心が寄せられています。そして事故から四半世紀が過ぎ、風化しつつあったチェルノブイリに対しても再注目が集まるようになりました。本稿では今年5月にベラルーシ、ウクライナを訪問されたロシア語医療通訳の山田英雄さんから伺ったお話の中から、現在のベラルーシの経済状況や汚染地域での人々の暮らし、チェルノブイリ原発4号炉やその周辺の様子などについてご紹介します。

ベラルーシの 経済状況は今…

5月半ば、成田空港のアエロフロート航空はいつもと違い閑散とした雰囲気、震災の影響を感じさせる出発となりました。25年目を迎えたチェルノブイリの被災地ベラルーシ、ウクライナへ、今回は日本医科大学の清水教授による甲状腺内視鏡手術を取材するクルーに通訳として同行し、現地を訪問しました。

昨年訪問したときの通貨は1ド

ルあたり約3千ベラルーシルーブルでしたが、今年は通貨切下げによってレートが毎日変動し、一時は1ドルあたり5千ベラルーシルーブルまでになりました。加えて生活雑貨や飲食店などでも40〜50%程度の値上げが実施され、お手ごろな価格のレストランを探すのに苦労でした。

地元の人のほうが詳しいだろうと思い、ミンスク市内で再開した現地スタッフのリユドミラ・ウクラインカさんに聞いてみると、「馴染みのレストランなどは全て閉まってし



かつての原発労働者の街「プリピャチ」(上)と、稼動前に原発事故が起きたため、一度も使われることのなかったプリピャチ市内の観覧車(下)

まったので、今はもう高いレストランしか残っていない。それに私は今年に入ってから外食したことがないから事情がよくわからない」という答えが返ってきました。現地です。

ようやく見つけたファーストフードチェーン「ピザハット」にて夕食。久々の外食にリュドミラさんの一人娘、アンナちゃんも喜んでいました。以前は人見知りをしていました。今回はとても社交的になっていて、素敵な笑顔をカメラに向けてくれました。

(表紙の写真参照)。

汚染地域での 人々の暮らし

ベラルーシ国内には原発事故による放射能の影響で強制避難の対象となった地域がいくつもありますが、避難後にまたその汚染地域へ戻ってきて生活を営む人(主に高齢者)もいます。ベラルーシ政府は

こうした人々に対して、「戻りたい人は戻っていい」と黙認の姿勢をとっています。

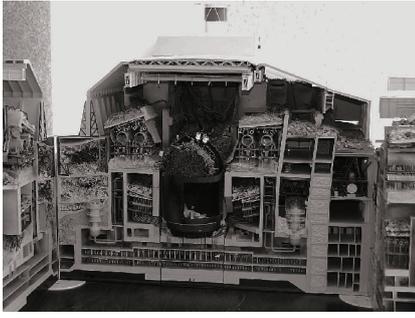
ゴメリ州ホイニキ市のチエルノブイリ担当者の説明では、「人が住んでいないはずの強制避難地域だが、様々な事情からこの地域で生活する人は確かにいる。しかし15歳以下の子どもは住んではいけないことになっているし、その土地で採れた作物は食べてはいけないという指導、監視はしている」という答えが返ってきました。しかし5年前の2006年に訪問したグブレビッチ村(放射能の影響で避難勧告が出され、地図から消えたはずの村)では小さな子どもの姿も見られ、人々はじゃがいもや牛乳など、そこで採れたものを食べることで生活をしているというのが実情でした。

また強制避難対象とならない低、中濃度の汚染地域への入植が奨励されています。

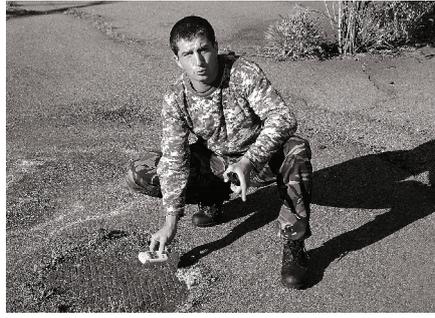
ストレイチボ村というところは、ソ連邦崩壊後のベラルーシ以外の各共和国から自国での戦禍を逃れて入植してきた移住者に対し、

現在外壁の補強工事が進められる原発4号炉の石棺





展示されていた4号炉炉心部の模型



チェルノブイリ非常事態省のガイド



ストレイチボ村にある「インターナショナルスクール」での給食風景(前頁参照)

行政によって住居や仕事の世話、子どもたちのための学校建設も行われています。

福島での事故を受け、日本でも食べ物への放射能汚染に関心が高まっています。汚染されたものは食べてはいけないと声高に言われますが、こうした汚染地域で暮らすベラルーシの人々は、経済的な理由からその土地で採れたものを食べて生活を続けています。こうした地域において現在、がんが増えているといった具体的なデータは明らかになっていません。しかし汚染された食物を通しての内部被曝の影響がないとは言いきれず、まだよくわからないのです。

原発4号炉「石棺」 その行く末は…

行程半ば、ミンスクでの手術を終え、日本へ帰国する清水教授らと別れ、取材クルーとともにウクライナへ向かいました。

現在チェルノブイリ地域は、ウク

ライナの「チェルノブイリ非常事態省」の管轄となっています。かつての原発労働者の街「プリピャチ」や原発周辺での取材は、この非常事態省で定められたスケジュールの中で実施されます。また必ずガイド(兼監視役)が付くことになっています。

チェルノブイリから25年の今年、ウクライナで開催された国際会議の大きなテーマは「原発4号炉の第二次石棺の建設について」というものでした。その構想自体は過去にこの通信でも紹介したことがありますが、もう何年も前から出ているものです。

ガイドへ「5年前(2006年)に来たときも同じ状況だったよ」と言うと、そのとおりだと、彼は言いました。「トップの連中は3〜5年やれば辞める。その間に私服を肥やして辞めていく。だから今持ち上がっている新しい石棺の構想がいつ実現するのは我々も期待していません。人間は自然の力には絶対になかない。フクシマはチェルノブイリ以上に深刻な事態になっているのでしよう?一刻も早く国外へ避

難したほうがいいのではないですか?」海外の人からは、日本人は非常にのんびりしているように見えるようです。

今回ガイドをしてくれた男性は6歳までプリピャチに住んでいたそうです。この仕事は3週間働いて1週間故郷で休むという勤務体系の繰り返しですが、今年もチェルノブイリ25周年で訪問者が多いため、一度も家に帰っていないので、早く家に帰りたいとこぼしていました。

原発4号炉の石棺は現在補強工事中です。原発の撮影には方向や距離が制限されていて、原発周辺の高さ3mの塀と、原発入り口のゲートは撮影できないことになっています。周辺では整備が進んでおり、立派な展示室もできていて、原発内部の模型もありました。

25年目を迎えた現地訪問でしたが、その現場から福島原発事故の歩む道が見えるようで、今更ながら「チェルノブイリの教訓」は何であったのか、考えさせられる旅となりました。(談)

今こそ知りたい！日本の原発Q&A(2)



今回のテーマは「地震と原発」「発電のしくみ」「私たちにできること」の3つです。文責は回答者個人にあり、CMNの公式見解ではありません。予めご了承ください。

❖地震と原発

福島第一原発事故は津波が原因で起きたのでしょうか？

非常用ディーゼル発電機が停止し、全電源喪失となって事故が決定的になったのは間違いありませんが、最初の地震動によって配管などが破損し、事故が始まったことを指摘する専門家もいます。もしそうであれば本来は耐えうるはずの地震によって被害を受けたことになり、全国の前発の安全性に直結する重大な問題となります。

菅総理の要請によって浜岡原発が停止されましたが、特別の事情があるのでしょうか？

福島第一原発では15メートルを超える津波によって全電源喪失に

なつたというのですが、浜岡では8メートルまでしか想定していないので、防波壁が完成するまで停止となりました。

浜岡原発の敷地があるのは、将来発生が予想される東海地震の震源になるとされているところです。もし東海地震が起これば、浜岡原発はこれまでほかの前発で経験したことのない揺れに襲われるといわれています。その被害は中京地区をはじめ関東全域にまで及ぶものと思われまます。

なぜ地震が予想される場所に原発があるのですか？

浜岡原発1号機が設計された時には、地震の発生を理論的に説明するプレートテクトニクスはまだ主流の学説となっていないのでした。どこでどのような地震が起こるか

わかっていたいなかったのです。

他の原発にはそのような問題はないのでしょうか？

日本は、ユーラシアプレート、北米プレート、太平洋プレート、フィリピン海プレートの4つのプレートが接するという、世界でも稀な地震国です。このプレート境界は絶えず力が加わるため、周期的に強い地震が起きていることがわかっています。また内陸部でもひずみが蓄積すれば地震が起こるわけで、いづいどこで起きてもおかしくないのが日本列島です。

浜岡原発の場合は、近く発生する東海地震の影響を受けることが想定されますが、その他の原発でも、近くで巨大地震が起きないとは断言できません。

玄海原発の運転再開が議論されましたが、玄海原発には問題があるのでしょうか？

今回運転再開する予定だった3

号機は、日本で初めてプルサーマル(※)を受け入れ、2009年11月から運転していました。プルサーマルは通常の原発に比べて安全の余裕度が少なくなることが知られており、その点がどの程度考慮されているかわかりません。(※プルサーマルについての詳しい説明は「チェルノブイリ通信」60号に掲載しています。)

現在運転中の玄海原発1号機では、原子炉圧力容器が長期間中性子線照射によって脆くなっていることがわかりました。ガラスのコップに熱湯を注いだ時と同じような割れ方をする可能性があるということです。

原子炉を緊急停止する必要が発生した時、緊急炉心冷却装置から大量の冷水が注がれることになりませんが、そのために圧力容器が破壊されると、人類が経験したことのない規模の前発事故となる可能性があります。

今回の震災を受け、九州電力は移動電源車を配置したことなどで

運転を再開しようとしたが、根本的な津波対策が完了するのは数年後になるようです。また地震に対しては、全国の原発の平均より低い540ガルの耐震性しかありません。

❖ 発電のしくみ

私たちの暮らしの中に当たり前にある電気ですが、そもそも電気はどうやって作られるのですか？

電気を作る仕組みは火力発電でも、原発でも基本的に同じです。蒸気を作って、その蒸気でタービンを回して発電しています。

原発ではウラン原子が核分裂する際に出る熱で蒸気を作り、タービンを回しています。蒸気で直接タービンを回す「沸騰水型」、原子炉内を循環する水とタービンを回す水とを蒸気発生器で分離する「加圧水型」などがあります。

日本には50基以上の原発があります。日本の電力の多くは原発によってまかなわれているのですか？

2009年の発電電力量の実績

(推定)は9528億キロワット時で、その構成比率は、石炭25%、原子力29%、LNG29%、石油8%、一般水力7%、揚水1%、新エネルギー1%となつています。発電設備容量では、原子力は20%、石油火力は19%ですから、石油火力をなるべく運転せずにいることがわかります。

電気を作る仕組みは火力発電でも原発でも基本的に同じというのですが、作れる電気の量は同じですか？

いいえ。火力発電でも原発でも、その発電効率はタービンの入口と出口の温度差によって決まります。高温の蒸気を使い、タービンから出てくる温度が低いほど効率が高くなります。

原発は効率が30%で、残りの70%は廃熱となつてまわりの海水温を上げることとなります。火力発電の効率は原発より少し良く30~40%近くのものもあるようです。

また天然ガス火力発電所の中には「コンバインドサイクル発電」というものもあります。この発電では熱を何回も有効利用するので効率は49~61%にまで上げられます。さらに効率が高いだけでなく、需

要に合わせて出力の変動が簡単にでき、放射能の心配もないので都市部のすぐ近くに建設して送電ロスを抑えることも可能です。

電気の使用量は季節や時間帯によって異なると思いますが、発電量はその使用量に応じて調整できるのですか？

作つた電気を貯めることはできないので、消費に合わせてその発電量を調整する必要があります。ただし発電の方法によって、その量を調整できるものとできないものがあります。

原発は発電量を調整できないので、常に最大出力で運転しなければなりません。また太陽光、風力は自然任せで変動するため、火力と水力とでその発電量を消費量に合わせる必要があります。

一日の消費電力は、朝からだんだん上昇していつて、午後にはピークを迎え、夕方に少し上昇した後は深夜に最低になります。この最低限の値をベースロードといい、原発がこのベースロード部分を受け持っています。

発電量を調整できない原発で作られた電気が、余ることはないのでしょうか？

もちろん深夜の最低電力(ベースロード)が原発の出力を下回ると、電気が余ることになります。そこで電力会社としては夜中に電気を使つてほしいので、夜間の電気料金を値下げした夜間電力消費キャンペーンを展開しています。

また原発が建設されると、その規模に見合うだけの揚水発電所が建設されています。この揚水発電所では、高低差のある2つのダムを作り、昼は上のダムから下のダムに水を落として発電し、夜は下のダムから上のダムに水を汲み上げて発電しています。

昼間に電力を供給して需要を賄うということもありますが、夜間に余つた電力を消費するという意味合いが強いです。つまり原発があれば必要ない発電方法です。

原発は二酸化炭素(CO₂)を排出しないので、地球温暖化に効果的という意見もありますよね？

たしかに原発では発電時にCO₂を排出していません。しかし原料となるウランの採鉱から使用済み核燃料の処理まで含めると、多くのCO₂を排出しています。



低周波音による健康被害が指摘される

また原発の周辺海域に大量の温排水を流していることは、明らかに地域の気象条件に影響を与えています。

CO₂による温暖化については、その科学的根拠に批判的な学者もいて、原発を推進するための道具にされているとの意見もあります。CO₂は化合物ですから、必ず化学的な方法で処理することができません。しかし、放射能を化学的な方法でなくすることはできません。

最近では再生可能なエネルギーへの関心も高まっています。これらの自然エネルギーの現状はどうですか？

再生可能エネルギーには風力、太陽光、太陽熱、波力、潮力、小規模水力、バイオマスなどがあります。しかしいずれも現状の需要を賄うだけの設備はまだなく、すぐには増えそうもありません。

風力、太陽光は気象条件によって発電量が大きく変化し、発電に適した場所も限られています。現在の電力需要を賄う発電方式ではありません。

太陽光発電は少し雲が出ただけで発電量が低下し、夜間は発電できないので稼働率が低く、他の発電方式との組み合わせが重要です。また風力発電では騒音公害、健康被害の問題があります。

❖ 今後に向けて

私たちにできること

人間と原子力との共存は可能なのででしょうか？

今回、福島第一原発で事故が起き、問題点が色々見えてきたと思います。しかし事故が起きなくても原発の中には大量の放射性物質が生み出され溜まっていきま

す。それを処分するのは電気を使った世代ではなく、その子や孫、ずっと先の世代です。一時期の快適さのために、未来にこのような負の遺産を預けて良いのか、考えるべき時期にあるのではないのでしょうか。

原発がないと電気が不足するのではと心配する人もいます。原発がなくなると、どんな生活になるのでしょうか？

基本的には何も変わりません。現在でも電力会社の持っている火力発電設備をフル稼働すれば停電することもありません。また、大規模工場などの自家発電設備を合計すれば、現在運転中の原発を超える発電量があるので、十分に需要を賄えます。

現在のところ、原発の代わりとなるのは火力発電です。先に触れた最新鋭のコンバインドサイクル方式での火力発電では、エネルギー効率が60%にもなるので、今後の発電方式の中心になると思われます。

電気の需要のピークは夏の昼間の数時間です。工場の夏休みの時期をずらす、昼休みをピーク時の2時間にずらす、クーラーの設定温

度を下げる等が効果的です。また何でも電気に頼る生活を改めることも重要です。

私たちにできることはなんなのでしょうか？

一人一人の節電も大切ですが、産業界の電力消費の大きさを考えると、節電効果には限界があります。産業構造を変えるような政策転換が必要です。

より広い視野に立ち、政治的な主張を超えて、幅広い市民層からの取り組みが原発を減らすことにつながります。

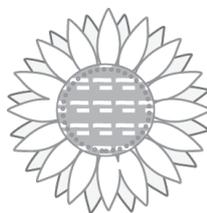
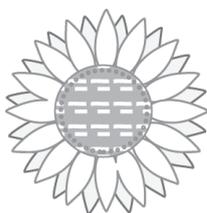
私たちの未来を切り拓くのは、私たち自身です。勉強会に参加して原発についてもっと知る、周りの人と話してみる、問題を伝える、党派を問わず、自分の住んでいる選挙区の議員に原発の実情を訴え、手紙を書くなど、さまざまな切り口から原発を考え、未来に向けて取り組んでいくことが大切です。

●団体ウェブサイトにより詳しい内容を掲載しています。あわせてご覧ください。

泣いたり、笑ったりしながら、 みんなで元気になってきました。



「ママは原発いりません」福岡 代表・刀禰詩織^{とね}



福島での原発事故を受け、東北や関東から避難してきたママたちと、福岡のママたちによって今年4月に誕生したネットワーク団体「ママは原発いりません」福岡。代表の刀禰詩織さんに、活動内容やフクシマへの思いなどを書いていただきました。

あんな地震、人生で初めてだったけど、原発事故がなきゃ絶対に離れなかつたよ、とママたちは口をそろえる。

福島、宮城、埼玉、東京……。

いろんなところから避難してきたママたちと、地元のサポーター十数人を中心に発足した「ママは原発いりません」福岡（通称「ママ原」）。月に一度、福岡市中央区天神でパレードを開き、避難者の交流会や、福島からの避難プロジェクトなどを計画している。

東京から3歳の娘を連れて、実家に避難中の私が、一応「ママ原」代表

をさせてもらっている。福岡に避難してきてすぐ、一人で天神に行つてピラを配り始めた、いわ

ゆる言い出しつぺだからというのもあるけれど、東北ママたちが顔や名前を出すことが難しいという事情もある。

地縁・血縁の濃い福島や宮城のママたちにとって、地元を離れたきたことは、ぬぐいきれない寂しさや、若干の罪悪感がのしかかっているんだということを、ここ数ヶ月いっしょに活動しながら、ひしひしと感じてきた。

メンバーの一人、アメリカ（仮称）は、子どもたちを連れて福島を離れよう

と決めたとき、「今、出て行つたら、きつと後ろ指を指される。もう、二度と帰つて来れないことは覚悟するんだよ」と親に言われた。

「親の優しさとして、背中を押してもらった」とアメリカ。放射

能の恐ろしさを知る人たちには、チェルノブイリ以上に汚染されてしまった土地に、どうして母子たちが留まり続けているのか、異常に思えるかもしれない。でも、山下俊一教授の「100ミリシーベルトまで大丈夫」という説がまかり通る土地にいて、それでも避難を決めるということは、「愛するこの場所に、もう二度と戻れなくなることを決意するかどうか」という重たい問いとして、ママたちに迫っている。夫や家族の支えがなければ、なおさら難しいだろう。



月に一度のパレードの様子



小さなお子さんも多く
和やかなムードです

連絡先は
こちら!



「ママは原発いりません」福岡

◇URL:<http://mamagen.jimdo.com>
◇問合せ: chronikasha@gmail.com



ご注文はTEL/FAX、メール等でお気軽に事務局まで。
お買上げ総額5000円以上で送料無料となります。



コーヒー・紅茶キャンペーンのご案内

おいしいコーヒー、紅茶を飲んで、気軽にチェルノブイリ支援に参加しませんか?

期間中、商品(コーヒー・紅茶、のぞみ21雑貨、書籍)を合計5千円以上ご注文いただいた先着15名の方に、ベラルーシのお土産をプレゼントします!

※プレゼントは9月のベラルーシ訪問時に仕入れるため、ご注文の商品とは別に遅れて発送いたします。

期間 2011年 9月10日(土)～9月30日(金)まで

夫

を残してきた人、家族みんなまで避難できた人、帰ろうか迷っている人、帰れないと決めている人……一人一人事情は違うけれど、「ママ原」メンバーは、みんな泣いたり、笑ったりしながら、ここ数ヶ月、少しずつ元気を取り戻してきた。原発推進知事や議員たちにはあきれられ、やるせない思いもこみ上げるけれど、怒ったり、嘆いてばかりいたら病気になる人が続出したので(笑)、なるべくみんなが笑

合うようにしている。原発なんていらぬ。でも、そんな当たり前のこと、わざわざ言う必要のない時代が来たら、すぐにでも、「ママ原」は、「ママは元氣」の「ママ元」にしよう。そう決めている。



事務局日誌より 主な活動報告



CMNでは学校やお茶の間での学習会など、規模を問わず講師派遣を行っています。ご関心のある方は事務局までお気軽にお問合せください。

◆6月25日 「九条守りたい」定例会



定例会のようす

北九州市小倉北区にて、「キリスト者九条の会」北九州主催の定例会に講師として呼んでいただき、団体の活動紹介をさせていただきました。講演後の参加者による感想発表でも色々な意見が出て、原発や放射能に対する関心の高さがうかがえました。詳しくは事務局ブログでも報告しています。

◆7月14日 前原東中学校へ講師派遣



講師紹介中の河上理事長

福岡県糸島市にある前原東中学校へ講師派遣に行ってきました。東日本大震災、福島での原発事故を受け、放射能の問題に対する意識が高まっているということ、団体の活動紹介のほか、放射能が人や環境に与える影響についてお話をさせていただきました。

◆7月30日 福岡YWCA「平和の集い」



写真を交えて活動紹介

毎年夏に開催される福岡YWCAの「平和の集い」にて、今年はチェルノブイリをテーマに取り上げていただき、講演に行ってきました。また8月6日までの1週間、福岡市中央区にある同会館にて、チェルノブイリの子どもたちの絵画や活動写真パネルなどの展示もしていただきました。

◆7月31日 ラブ&ピースフェスタ



様々な写真や資料が展示

福岡県糟屋郡のサンレイクかすやで開催された「第2回ラブ&ピースフェスタ」にてブースを出展し、活動紹介と物販を行いました。団体PRのときに、こどもたちの作文集「わたしたちの涙で雪だるまが溶けた」を紹介し、たくさんの方にご購入いただきました。

◆8月6日 マトリョーシカ絵付け会



色鮮やかです

福岡市NPO・ボランティア交流センターにて、白木のマトリョーシカに絵を描いて、色を付け、オリジナルのマトリョーシカちゃんを作ろうというワークショップを開催し、11名の参加がありました。完成したマトリョーシカはどれも個性的でした！

お知らせ

ベラルーシへ行ってきます!

◆スケジュール◆

- 9/25(日) 成田→モスクワ経由でミンスクへ
- 9/26(月) ミンスク(内視鏡手術など)
- 9/27(火)~29(木) プレスト(甲状腺がん検診など)
- 9/30(金) ミンスク(取材など)
- 10/1(土)~2(日) ゴメリ(のぞみ21訪問など)
- 10/3(月) ミンスク→モスクワ(機中)
- 10/4(火) 成田着



CMN理事
川原秀之

プレスト第11回検診団にチェルノブイリ医療支援の代表としてしっかり役割を果たしてまいります。私自身、今回で三回目の参加になりますが、これまでの参加と今回とでは当然意識に変化が生じております。なぜなら我が国に3.11の衝撃が発生したからです。福島原発の今後の問題に対し、これまでに蓄積したノウハウを活かして、どういった活動ができるか。今回のベラルーシ訪問は、その支援内容を考えていくうえでの一歩になると認識しております。寄付をはじめ支援していただいている皆様に有意義なご報告ができることを念頭に、参加者の方々と一緒に旅立ってまいります。皆様の応援よろしく願いいたします。

私も応援しています!
会員さん
紹介コーナー
Vol.13

このコーナーでは、チェルノブイリをともお支えいただいている会員の皆さまより、活動への思いや現地へのメッセージをお聞かせいただきます。

取材/三島

本日の会員さん

小川 ^{みねこ}峰湖さん
〈福岡市〉

原発は怖いものだと、強く感じました。

チェルノブイリ医療支援ネットワーク(CMN)の活動について知ったのは、理事長の河上さんから紹介されたのがきっかけです。もともと

家族ぐるみの付き合いがあり、河上さんからは環境問題や地震、原発のことなど色々な分野の情報を得ていましたが、その中にCMNの活動のお話もあったという感じでした。チェルノブイリ原発事故から何年も経った今でも、日本でもこういった活動をしている団体があるのだなと思いました。現在は正会員として入会しています。

以前は関東で仕事をしながら小学3年生の娘と暮らしていました。しかし今年3月に東日本大震災、そして福島での原発事故があり、放射能の影響、特に娘の健康被害

を心配して実家のある福岡へ疎開を決めました。

過去にスリーマイルやチェルノブイリでも事故があったので、放射能や原発の問題については理解しているつもりでした。特にチェルノブイリのときは、遠く離れたここ日本でも食品から放射性物質が検出されるといふニュースがあったことをよく覚えています。食べ物を通じて原発や放射能の怖さを感じました。でも実際に福島で事故が起きて、やはり原発は怖い、とても危険なものだということを改めて強く感じました。

健康被害といった放射能による様々な影響もありますが、コストの面でも原発はどうなんだろう?と感じます。福島では実際に事故が



かなな
愛娘の葉奈ちゃんと一緒に

になるのは放射能だけのせいではない、仕事や現在の生活もある」という人もいました。関東でもこういった状況だから、福島など原発周辺の地域では、疎開したくてもなかなか踏み切れない人、迷っている人もたくさんいらっしゃるのではなにかと思います。

価値観や優先順位は人それぞれだから、こういった行動が一番良いのか、簡単に答えは出せないと思います。でもそもそも原発がなければ、こんなもどかしさは経験しなくていいことですよ。

福島での事故は未だ収束しておらず、これから食品の放射能汚染へどうやって対処していくか、こういった形で被災者の支援を続けていくかなど問題が山積みです。

過去にチェルノブイリ原発事故を経験したベラルーシから、今後日本が参考にすべき対策など多いのではないかと思います。CMNはチェルノブイリ被災者への医療支援をしているので、そういったパイプを活用して、ベラルーシでは事故後どういった支援がなされているのかなど、色々な情報を日本へ伝えていってほしいです。(談)

私は子どもの健康が心配だったので、すぐに疎開を決めたけれど、周りの反応は様々でした。

「今すぐに影響はないかもしれないけど、将来どんな病気になるかわからないから、そのほうがいい」と賛成してくれる人もいれば、「病気が

たくさんのご支援を ありがとうございます。

(順不同・敬称略)

- 善光寺・青木敬子 吾郷成子 浅倉カヨ子 浅原望樹 有竹容子 生田裕美 石川勝巳 伊藤まゆみ 井上洋子 井上陽子 植村仁美 有働聡美 榎本みつ枝 遠藤礼子 大杉知佳 大田澄子 太田千賀子 大谷正穂 沖佐和子・中西葉子 オヒロ・山本枝美子 金只律子 亀崎知子 川原登喜の 甘藤珠恵子 木下るみ 久保カヨ子 倉掛朋大 後藤順 小林教子 齋藤和歌子 堺紀子 サトウ矯正歯科クリニック 里見照子 佐村りつこ 渋谷けい子 庄籠道子 白水明代 関根敏子 高村久 高山幸子 竹宗優子 田代トヨミ チャリティコンサート実行委員会「クリティエ」 坪川裕子 鶴園直美 手嶋真智子 遠山祥子 床田和隆 長崎県職員連合労働組合 長棟かおる 高野瀬直治 野口弘子 野中孝子 箱田裕司 羽田弘子 久田文子 日高太 平島懐子 平田みき 廣政貴子 藤井生子 藤原和恵 堀尾直史 本田美穂子 前田育子 前田杏奈 栞田千絵 南祐子 宮崎真理子 村上和代 村上康子 村田信代 本岡眞利子 森悠子 森川純子 森田洋子 守山美佐子 山口文 山本潤子 横田典子 吉田久美子 力丸邦子 渡辺久美子 渡邊幸之新

〔都道府県別〕

- 〔北海道〕1名 〔東京都〕3名 〔神奈川県〕1名 〔長野県〕2名
〔静岡県〕1名 〔富山県〕2名 〔大阪府〕2名 〔兵庫県〕1名 〔鳥取県〕1名 〔島根県〕3名 〔広島県〕6名 〔山口県〕5名 〔福岡県〕33名 〔佐賀県〕2名 〔長崎県〕3名 〔熊本県〕9名 〔大分県〕7名 〔鹿児島県〕2名

★株式会社カタログハウス様より、150万円の運営支援カンパをいただきました。心よりお礼申し上げます。

合計 4,366,650円

活動支援金	4,006,401円
のぞみ21カンパ	43,000円
雪だるま3号カンパ	30,400円
東日本支援カンパ	286,700円

●マンスリーサポーターの皆さん

- 相川靖 相羽美香子 Rinsage 石本祥二郎 磯道綾子 一瀬和美 稲田照子 岩口香織 上田英子 植田清子 内野和美 野千鶴子 延壽富美 大塚卓子 大久保伸子 大久保弘子 崎知恵 太田昌子 大場満 片岡八重子 金山涼子 紙森優子 河上雅夫 川崎君子 川崎清美 川尻愛子 木村雅子 古賀輝洋 後藤宇企子 財津悠子 斉藤美代子 坂口馨子 櫻井美喜子 佐竹早苗 佐藤一江 佐藤進一 佐藤照子 城景子 白浜千恵子 鈴木弘子 首藤展子 高山知佐子 竹田恵子 武田孝子 田中京子 珍部千鳥 土持秀男 由利子 朱加 綱脇牧子 坪川裕子 富永隆史 友景忍 鳥井原桐子 鳥原良子 永江之子 永尾ゆかり 永野沙智子 中村洋子 榑崎悦子 西井えりな 西首延子 丹羽道代 納富育代 平原久子 廣松初美 深川哲臣 福井初子 福本勅子 藤本孝子 淵田三輝 古川恵子 前田靖子 松尾智恵子 松永庸子 丸山さより 水本敬子 三野桂子 村田聡子 村西美由紀 室屋芳乃 森川キミエ 山下澄子 山中陽子 山本亮輔 吉田美抄子 吉野陽子 吉村啓 渡邊真志子
計106名(匿名含む)

(2011年5月1日〜7月31日までに募金をして下さった方、ならびに「のぞみ21」雑貨支援コーヒー・紅茶の購入を通じて活動を支援して下さいました方です。通信にお名前を紹介することを許可いただいた方のみ掲載しています。)

編集後記



前号に引き続き続いて福島特集となりました。今回はQ&Aに加えて寄稿、会員さん紹介も福島関連の話題を取り上げています。Q&Aは今回で完結ですが、今後とも質問があるようならホームページ上で続編を更新していきます。またCMNの福島対応については概要がまとまり次第お知らせします。(河)

皆さまからのメッセージ (一部抜粋)

●些少ですが、お役に立ちますように。●チエルノブイリの教訓が生かされず、なおまだレベル7の判定を受けながら原発を動かそうという人たちがいることが驚きです。勉強すれば、働く所より生きる所を守る方が大事とわかるはず…。●検診と治療の体制づくりに力を。●福島の皆様の生活が少しでも普通にもどれますように…。●活動で苦勞様です。●安心して暮らせる日が早く戻りますように。●福島のことをも救ってください。●原発反対を強く主張していかねばならないと痛感しています。●子ども達の未来のために、この運動は必要です！ともがなばりましょう!!●子どもたちを守るため、チエルノブイリの情報をもっと日本の中で広めていかなければならないと思います。●日本もがんばります。子どもたちの健康を願います。●犠牲にあわれたお一人お一人のことを思い、原発の問題を深く意識し、考えさせられるきっかけになりました。エネルギーを大切に生活します。●環境、体調ともに早く良くなりますように。●福島の子どもたちにも支援をしたい。●チエルノブイリ、日本でおきた原発の恐ろしさに早く気付いて、反原発に世界中が向いてほしいものです。●チエルノブイリ、スリーマイル、フクシマ…、もう原発はやめましょう!●福島原発、早く一段落できるように祈ります。玄海原発はこのままとめてほしいです。脱原発を祈ります。●未永くカンパを続けたいと思います。1日も早い復興を願っています。●「原発」これからも反対していきます。早く世界中全ての原発が停止しますように!●今こそすべての原発を止めるべきです!●いつも同じ姿勢でチエルノブイリ医療支援に関わっていらっしやる。その強い志に感服しております。●ノーモア・ヒロシマ!ノーモア・ナガサキ!ノーモア・フクシマ!●原発さよなら。少なくとも私の自宅、職場、そして私に関するすべての電力は原子力は拒否します。九電さん、迷惑です。止めてください。●ついに日本でも原発事故発生。原発は危険、無くしていかねば。●この日本で原発事故がおきてしまいました。チエルノブイリが教訓になっていなかった。●世界の原発反対。